

平成21年度

苫小牧市立病院経営改革プラン評価報告書

平成22年11月

苫小牧市立病院経営改革評価委員会

目 次

・はじめに	1
・経営改革プランに対する評価	2
第1節 委員会評価及び意見、前年度評価との比較	2
(1) 項目Ⅰ 経営指標に係る数値目標	3
(2) 項目Ⅱ 経営効率化のための具体的な取り組み	5
(3) 項目Ⅲ 各年度の収支計画	8
第2節 今後の病院経営に対する提言	10
(1) 医療提供体制について	10
(2) 経営体質の強化について	11
【付属資料】	
・平成21年度実績 病院自己評価と委員会評価の比較	12
・委員名簿	13
・会議開催の状況	14

はじめに

本委員会は、平成21年2月に策定された「苫小牧市立病院経営改革プラン」に示された各年度の計画における進捗状況を、外部委員で構成する評価委員会で検討するとされたことに基づき組織された第三者委員会であり、前年度に引き続いて改革プランに対する評価及び意見を求められた。

指標を20年度と比較した時、項目によっては状況が改善されているものも見受けられたが、経常収支比率や職員給与費対医業収益比率といった主要な項目については目標が達成されておらず残念な結果となっている。

本委員会では審議の結果、病院自己評価に対し、1項目で評価を上げ、5項目で評価を下げるとの結論にいたった。

評価が厳しいものとなったのは、病院に対する期待が大きいことの現れであり、医療提供の充実と経営改善の実現を望むからである。22年度以降においては、特に収支状況の改善を期待したい。

医師をはじめとするスタッフの確保は、良質な医療水準の維持・向上のために必要であり、人材投入が収益に直結する現在の診療報酬制度下においては、経営的な視点からも重要である。市立病院の医師数は毎年増加しており、自治体病院の多くが医師不足に陥っている中、大変恵まれた状況にあると思われる。

また、公立病院である以上、公益性の観点から救急医療などの不採算部門についても、その機能を維持することが必要である。

自治体病院を取り巻く環境は依然として厳しいが、今後とも東胆振・日高地区の中核病院として専門性の高い医療を提供し、経営自立を図るため、改革プランに従って着実に事業が展開されることを期待する。

平成22年11月

経営改革評価委員会
委員長 水元修治

経営改革プランに対する評価

第1節 委員会評価及び意見、前年度評価との比較

市立病院は、経営改革プランに対し以下の基準で自己評価していることから、対比を明確にするため本委員会においても同一の基準に基づき評価した。

- A：目標を余裕を持って達成し、付加価値が生じた。
- B：プランの目標値は達成した。
- C：プランの目標達成に向けて取り組みはしているが、現状未達成である。
- D：プランの目標達成に向けて取り組めていない。
- E：検討されていない。

ここで予め20年度実績評価と21年度実績評価の概要を下表のとおり示す。

			A	B	C	D	E	計
経営指標	20年度	病院自己評価	3	4	2	0	0	9
		委員会評価	2	5	2	0	0	9
	21年度	病院自己評価	4	1	4	0	0	9
		委員会評価	3	2	4	0	0	9
具体的 取り組み	20年度	病院自己評価	5	22	5	1	0	33
		委員会評価	5	20	6	2	0	33
	21年度	病院自己評価	12	18	3	0	0	33
		委員会評価	10	19	4	0	0	33
収支計画	20年度	病院自己評価	0	30	6	0	0	36
		委員会評価	0	30	6	0	0	36
	21年度	病院自己評価	8	14	14	0	0	36
		委員会評価	8	14	14	0	0	36
合 計	20年度	病院自己評価	8	56	13	1	0	78
		委員会評価	7	55	14	2	0	78
	21年度	病院自己評価	24	33	21	0	0	78
		委員会評価	21	35	22	0	0	78

総体的にみると20年度ではB評価が多数を占めていたが、21年度ではB評価からA・C評価にそれぞれ移行する結果となった。なお、計画の目標値は年度を追う毎に高く設定されていることもあり、評価が下がったとしても、内容的には十分な改善がなされている項目もある。また、20年度にはD評価が存在したが、これが改善され、無くなっている。

21年度実績に対する本委員会の評価及び意見の詳細は、3～9ページに示したとおりである。

(1)項目 I 経営指標に係る数値目標

【財務に係る数値目標】

項番	項目	20年度 実績値	21年度 計画値	21年度 実績値	22年度 計画値	病院 評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
							評価	意見
1	経常収支比率 (%)	93.6	97.4	96.6	100.7	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 目標は達成できなかったものの、収益で20年度に比べ642百万円と大幅に伸びており、引き続き可能な限り増収対策を実施するとともに費用の抑制に努め、計画値が達せられることを求める。
2	職員給与費 対医業収益比率 (%)	51.2	49.2	50.9	47.0	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 人材投入が増収につながる診療報酬制度の構造や医療スタッフが社会的に不足する状況において、人件費が膨らむことはある程度やむを得ないことであるが、医業収益を増加させることにより比率を低下させ、計画値が達せられることを求める。
3	材料費 対医業収益比率 (%)	26.7	26.2	24.5	25.8	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 今後とも診療報酬請求において診断群分類別包括評価支払方式(以下、「DPC制度」という。)を導入していることを前提に、後発医薬品の採用拡大に努めるなど、さらなる比率の低下を期待する。
4	一般病床利用率 (%)	86.9	86.6	87.6	87.5	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
5	入院患者1人1日当たり 収入額 (円)	43,807	46,834	46,525	47,074	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 20年度に比べ2,718円の増となっていることは一定程度評価できる。DPC制度下において標準的な医療の質を維持しつつ、入院収益の増加に努め、計画値が達せられることを求める。
6	外来患者1人1日当たり 収入額 (円)	8,679	8,679	9,690	8,679	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【その他の指標】

項番	項目	20年度 実績値	21年度 計画値	21年度 実績値	22年度 計画値	病院 評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
							評価	コメント
7	紹介患者数 (人)	7,537	7,900	7,774	8,140	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 一次医療機関からの紹介患者の確保は安定した医業収益の維持にもつながることであり、さらに連携先を増やすなどにより、計画値が達せられることを求める。
8	救急患者数 (人)	10,469	10,410	8,352	10,200	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 医師の過重労働を原因とする「医師離れ」により地域医療の崩壊が現実社会問題化するなか、一次救急医療での処置が適当である軽症患者の受診数が減少したことは、医師の負担軽減さらには医師確保の視点から評価できる。
9	手術件数 (件)	2,381	2,300	2,562	2,370	A	B	病院評価はAであるが、この病院規模における手術数としては、目標が低めに設定されており更なる改善の余地があるため、評価をBとする。

(2)項目Ⅱ 経営効率化のための具体的な取り組み

【医療提供の充実】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
1	外来診療体制の強化	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後とも医師の確保を図り、より専門性の高い医療の提供がなされることを求める。
2	がん診療の充実	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。統計的に国民の2人に1人ががんが発病する現状のもとで、がん診療の充実は、圏域全体の願いであり更なる充実を求める。
3	放射線治療の開始	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。なお、放射線治療医師の常駐配置に向け努力されることを求める。
4	助産師外来の開始	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後とも助産師の確保を図り、継続されることを期待する。
5	専任看護師の配置	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。各分野における資格を取得した専任看護師の配置は、患者への良質な医療サービスの提供に有効である。今後とも計画的な育成・確保・配置の取り組みが継続されることを求める。
6	救急医療体制の強化	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。概ね達成されているが、放射線技術科の24時間体制の構築において改善の余地は認められ、早期に実現されることを求める。
7	リハビリテーション体制の強化	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
8	地域医療連携ネットワークシステムの拡大	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。なお、接続医療機関数の増加は認められるものの、紹介患者数の指標においては目標未達成であり、更なる連携先の拡大とともに内容の充実が求められる。

【収入の増加】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
9	7:1看護体制への移行	20年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。7:1看護体制は、良質・安全な看護サービスの基礎を成すものであり、経営の視点からも入院料の底上げにおいて重要である。今後とも看護師確保に努め、体制が維持されることを求める。
10	小児入院管理料2の算定	20年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
11	入院時医学管理加算の算定	21年度～	A	B	病院評価はAであるが、算定開始が8月となっていることから前年度との整合性を保つため、評価をBとする。
12	特定集中治療室管理料の算定	21年度～	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。算定の前提となる看護師確保が困難な状況であることは理解できるが、経営の視点から看護師確保に努め早期の算定開始することを求める。
13	DPC請求の開始	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後とも医療の標準化を前提とした上で、診療内容の質の低下を招かないよう適切な運用を求める。
14	人工透析の拡大	20年度～	A	B	病院評価はAであるが、病院の規模と透析の病床数からして1日あたり50人程度の病床稼動が可能であることから、評価をBとする。なお、急性期病院であることから、治療の内容としても動脈硬化性の合併症の患者等、難度の高いケースへの対応が望まれる。
15	査定対策の充実	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【経費の節減】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
16	職員給与の適正化		C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。市全体としての問題であることは理解できる。今後、改善に向けた取り組みを求める。
17	診療材料費の削減	20年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後とも更なる購入額の削減に取り組むことを求める。
18	後発医薬品の採用拡大	21年度～	B	C	病院評価はBであるが、患者への十分な説明を行うことを求めると共に、採用拡大の余地がまだ認められるため、評価をCとする。
19	光熱水費を削減	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。今後ともOA機器の節電に努めるなどの取り組みが継続されることを求める。
20	産業廃棄物処分手数料を削減	20年度～	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。21年度はVREの院内感染や新型インフルエンザ流行などの要因があったため、感染対策のレベルを強化したとのことであり、ディスプレイの診療材料などの感染性廃棄物が大幅に増量し、コスト削減に到らなかったことは理解できる。良質な医療提供の視点から感染対策の水準を維持しつつ、更なるコストの削減が求められる。
21	コスト意識の醸成	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【患者サービスの向上】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
22	患者意見の反映	20年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。病院にとって患者はある意味「顧客」であり、寄せられる意見は業務を改善する上で貴重な情報源となる。今後とも改善事例の拡大に取り組むことを期待する。
23	患者満足度調査の継続実施	20年度～	A	B	病院評価はAであるが、提示された資料の範囲では20年度の調査に比べ傾向として満足度が上がっていることは理解できるものの、この調査を通じてどのようなサービスが具体的に改善されたのかといった事例の提示がなされていないため、評価をBとする。
24	接遇研修の実施	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。患者が受診する医療機関を選ぶ重要な要素のなかに、その病院に対する好感度がある。接遇の向上はその基礎となるものであり、継続した実効性のある取り組みが求められる。
25	病院広報誌の発行	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【人材の確保】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
26	医師確保の取り組み	20年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 医師不足による地域医療の崩壊が各地で起こっている状況の中で、他の公立病院と比較して医師確保がなされていることは十分評価できる。
27	看護師確保の取り組み	20年度～	B	A	病院評価はBであるが、看護師確保が困難であるなか、各種の取り組みにより看護師数が一定程度維持され充足できていることにより、評価をAとする。 今後とも厳しい状況が続くであろうが、項番12の特定集中治療室管理料の算定を目指して更なる取り組みを期待する。
28	医師の事務負担を軽減	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 今後とも現場の求めに応じた適正な医療事務補助者の配置がなされ、医師の負担軽減が図られることを求める。
29	院内保育所の24時間化	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 看護師の就労環境整備はその雇用確保と離職防止において重要な要素であり、今後ともより一層の充実が求められる。
30	研修の強化	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 日々加速度的に進歩を遂げる医療分野において、各職種が学会などの場でその専門分野の先端技術等に触れることは、高度医療を提供する市立病院にとって必要なことと認める。
31	事務プロパー職員の採用検討	20年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【経営体制の強化】

項番	項目	目標年次	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
				評価	意見
32	地方公営企業法の全部適用を検討	21年度～	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。 今後とも経営形態を見直さざるを得ないような経営状況の悪化を招くことがないよう、改革プランの達成を前提とした経営の舵取りが求められる。
33	組織の見直し	21年度～	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

(3)項目Ⅲ 各年度の収支計画

【収益的収支】

(単位:千円)

項番	項目	20年度実績値	21年度計画値	21年度実績値	22年度計画値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
							評価	意見
1	病院事業収益	8,398,352	8,785,196	9,036,568	8,943,258	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
2	医療収益	7,624,666	8,030,009	8,287,089	8,194,963	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
3	うち入院収益	5,255,171	5,596,683	5,625,144	5,681,829	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
4	うち外来収益	1,944,748	1,974,511	2,176,902	2,054,319	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
5	医療外収益	600,994	582,495	576,787	575,604	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
6	特別利益	172,692	172,692	172,692	172,691	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
7	病院事業費用	9,785,840	8,860,393	9,203,713	8,733,482	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
8	医療費用	8,457,849	8,515,249	8,871,817	8,397,417	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
9	うち職員給与費	3,899,712	3,952,555	4,212,054	3,852,555	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
10	うち材料費	2,137,197	2,103,900	2,130,702	2,114,827	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
11	医療外費用外	322,895	323,644	306,089	314,565	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
12	特別損失	1,005,096	21,500	25,807	21,500	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
13	経常収支	△ 562,893	△ 226,389	△ 313,199	58,585	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
14	当年度純損益	△ 1,386,522	△ 75,197	△ 166,314	209,776	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
15	利益剰余金又は累積欠損金(△)	△ 5,957,189	△ 6,131,976	△ 6,123,503	△ 5,922,200	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【資本的収支】

(単位:千円)

項番	項目	20年度実績値	21年度計画値	21年度実績値	22年度計画値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
							評価	意見
16	資本的収入	1,629,707	704,747	712,347	796,917	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
17	うち企業債	996,600	28,500	27,100	100,000	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
18	うち他会計出資金・負担金	610,394	676,247	676,247	696,917	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
19	資本的支出	1,005,495	1,069,585	1,075,933	1,166,292	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
20	うち建設改良費	65,784	34,500	40,849	103,000	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
21	うち企業債償還金	939,711	1,035,085	1,035,084	1,063,292	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
22	収支差引	624,212	△ 364,838	△ 363,586	△ 369,375	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【単年度資金収支ほか】

(単位:千円)

項番	項目	20年度実績値	21年度計画値	21年度実績値	22年度計画値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
							評価	意見
23	単年度資金収支	525,116	28,618	△ 62,906	296,145	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
24	累積資金収支	△ 1,032,057	△ 1,105,056	△ 1,094,963	△ 808,911	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
25	一般会計繰入金	1,333,303	1,402,361	1,402,361	1,416,139	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

【その他】

項番	項目	20年度実績値	21年度計画値	21年度実績値	22年度計画値	病院評価	苫小牧市立病院経営改革評価委員会評価及び意見	
							評価	意見
26	経常収支比率%	93.6	97.4	96.6	100.7	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
27	職対業給与費率%	51.2	49.2	50.9	47.0	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
28	材業料費対業収益比率%	26.7	26.2	24.5	25.8	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
29	資金不足比率%	13.2	13.8	10.7	9.9	B	B	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
30	患者数人	119,958	119,500	120,903	120,700	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
31	入院1日当たり患者数人	329	327	331	331	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
32	病床位利用率%	86.9	86.6	87.6	87.5	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
33	診療単価円	43,807	46,834	46,525	47,074	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
34	患者数人	224,039	227,500	224,619	236,700	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
35	外来1日当たり患者数人	918	936	928	970	C	C	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。
36	診療単価円	8,679	8,679	9,690	8,679	A	A	病院から説明を求め、内容について協議・確認し、病院評価を了承する。

第2節 今後の病院経営に対する提言

(1) 医療提供体制について

ア 地域連携の強化

市立病院は、圏域の医療機関との連携を強化するための具体的な方策を講じ、連携医療機関への訪問等を通じて連携ネットワーク導入機関を拡大し、紹介患者数及び逆紹介患者数の具体的な数値目標を設定して取り組むことを求める。

イ 人材の確保と育成

医師・看護師をはじめとするスタッフの確保に努めるとともに、職員の離脱による医療崩壊を招かないよう、更なる負担軽減を図るとともに、特に子育て世代の看護師離職防止のために院内保育所の充実を求める。

専門的で良質な医療サービスを提供するため、各種研修の充実により職員のレベルを底上げし、専門医や認定看護師等の資格取得に対する具体的な取り組みの強化を求める。

ウ 利用者の意見

患者やその家族から寄せられる意見には、更なる業務改善に結びつく貴重な情報が含まれている。ご意見箱の設置と患者満足度調査や外来待ち時間調査を継続し、調査結果を十分に分析・活用して、患者満足度の向上を図られることを求める。

エ 医療安全や感染対策の充実

医療事故や院内感染の発生は患者個人の信頼を失うばかりでなく、病院の評価が下がることとなり、経営自体が立ち行かなくなることになりかねない。更に患者が安心して療養できる環境を構築するため、徹底した取り組みを求める。

(2) 経営体質の強化について

ア 収益の増加

医業収益で20年度と比較して662百万円と大幅な伸びを見せていることは、特筆に値する。

DPC制度下において、診療の質の低下を招かないよう適切な運用を行い、医療の標準化と病院機能の向上に取り組み、増収を図ることを求める。

イ 費用の適正化

① 人件費

現在の診療報酬制度は人材投入が収益増加に大きく関わる構造であることなどから、医療提供機能を維持する観点に立ち人件費の適正化を図ることを求める。

② 材料費

材料費のうち薬品費については、改革プランの取り組み事項にもあり、後発薬品の安全性に関する情報収集に努め根拠を明確にした上で、後発医薬品の採用拡大に積極的に取り組み、費用の削減に努めることを求める。

【付属資料】

平成21年度実績 病院自己評価と委員会評価の比較

		A	B	C	D	E	計
I 経営指標	病院自己評価	4	1	4	0	0	9
	委員会評価	3	2	4	0	0	9
II 具体的取り組み	病院自己評価	12	18	3	0	0	33
	委員会評価	10	19	4	0	0	33
III 収支計画	病院自己評価	8	14	14	0	0	36
	委員会評価	8	14	14	0	0	36
合計	病院自己評価	24	33	21	0	0	78
	委員会評価	21	35	22	0	0	78

委員名簿

区分	所	属	役職	氏名	備考
医療関係機関	社団法人 苫小牧市医師会		顧問	水元 修治	委員長 21・22年度委員
	財団法人 苫小牧保健センター		理事	畔蒜 正義	21・22年度委員
	北海道胆振保健福祉事務所 苫小牧地域保健部		次長	江上 洋行	21・22年度委員
経済関係機関	苫小牧商工会議所		副会頭	阿部 喜朗	21・22年度委員
	苫小牧信用金庫		常務理事	中屋 功	副委員長 22年度新任
	社団法人 苫小牧青年会議所		副理事長	藤田 健次郎	22年度新任
学識経験者	苫小牧駒澤大学		教授	佐藤 郁子	21・22年度委員
	苫小牧消費者協会		会長	橋本 智子	21・22年度委員

【参考】

事務局	苫小牧市	副市長	中野 裕隆	
	市立病院	院長	藤咲 淳	
		事務部長	福島 修	
		部次長	萩原 敏彦	
		医事課長	木戸 克史	
			財務係	庶務担当

会議開催の状況

	開催月日 開催場所	議事内容等
第1回	10月15日 市立病院講堂	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱状交付 ・副委員長選任 ・21年度実績 病院自己評価について ほか
第2回	11月12日 市立病院講堂	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改革プラン21年度実績に対する委員会評価意見について ほか
第3回	11月30日 市立病院 応接会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改革プラン評価報告書のとりまとめについて ほか